

広袴便り

広 袴 町 内 会 会 報 新 年 号
発行日 平成 21 年 1 月 1 日
発行責任者 広 袴 町 内 会 上 杉 孝 三 郎


新年のご挨拶 会長 上杉 孝三郎

広 袴町内会の皆様、明けましておめでとうござい
ます。任期二年目を迎えた各委員さん並びに班
長さん全員がこの一年間、力を合わせ力強く町内会
活動を推進して頂きましたことをご報告致しますと
同時に、子供会・広楽会・消防団・消防後援会等関
連団体や真光寺交番、交通安全協会等、関係者の皆
様方の多大なご協力に加え、会員各位から沢山の
支援、ご協力、ご助言等を戴いてまいりました。

お蔭様で昨年一年間を大過なく過ごすことが出来
ましたことに、役員一同心から感謝申し上げますと
共に希望に満ちた新しい年平成二十一年を迎えるこ
とを皆様と御一緒に慶びたいと思っております。
新年を迎えるにあたりまして、昨年一年間の町内
会の歩みを大まかに振り返り、次に今年に継続する
主な事業項目、続いて今年度の町内会組織につき述
べてみることにします。



1. 昨年の主な活動や出 来事

- ・ 賽の神（どんど焼き）のお祭りの場所が市公園課のご好意で広袴公園になりました。
- ・ 広袴会館が投票所として認定されました。

- ・ 総会で組み立て式やぐらの購入及び新しい委員制度提案にご承認頂きました。
- ・ この一年間で新規に五〇世帯の皆様にご加入頂き、会員世帯数が六五〇軒を越えました。
- ・ 真光寺公園行き最終バス時間が、従来の最終後に二本増便頂き延長されました。
- ・ 子供会の小学児童数が過去最大人数になりました。
- ・ 広報誌「広袴便り」の掲載写真のカラー化への取り組み開始。
- ・ 消防団第七部による二ヶ月に渡る早朝訓練（朝四時から六時）が実施されました。
- ・ 防災訓練実施、三〇〇名を超える参加者が、真剣に訓練体験をしました。
- ・ 新しい盆踊りやぐら入手、会員の手で組み立てられ、盆踊りにお目見えしました。
- ・ 盆踊大会の人数が過去最高だったことに加え、出店に広楽会が初参加してくれました。
- ・ 新しい踊り手の参加を目的に毎月一回の盆踊り練習が開始されました。
- ・ 大災害時に於ける町内会対応（自助力強化）プロジェクトがスタート。
- ・ 秋祭りが昨年同様大人御輿も加わり盛大に行われました。
- ・ 市民運動会が足掛け三年ぶりの天候に恵まれ予定通り無事終了。
- ・ 広袴中央バス停近くの横断歩道に歩行者用信号機が設置されました。

- ・ 室外用生ごみ処理機一三〇台が会員のご理解を得て導入されました。
- ・ 鶴川地区小中学校が合唱コンクールに相次いで全国レベル入賞されました。
- ・ 広袴文化祭が二年目を迎え出展数・来場者共に増加、年間行事として定着してきました。
- ・ 町田市町内会・自治会連合会が創立五十周年を祝う記念式典に於いて前相談役の吉川和志さんが鶴連会長を長年勤められた功績に対し表彰されました。
- ・ 広袴ゴルフ同好会秋季コンペが二十四名の参加を得て開催。
- ・ 役員全員任期内最後の歳末特別警戒活動実施。
- ・ (年間を通して)専門部会活動 文化、防災・防犯・交通、環境、広報、総務、会計、書記)
- ・ (年間を通して)毎週日曜日午前の受付並びに館内清掃、毎月第一土曜日夜の委員会)
- ・ (年間を通して)市連／鶴連、健全育成第二／第三委、学校関係、行政等との地域連携活動)

☆要注意事項☆

子どもたちに対するストーカー事例が年間を通して数件発生しています。いずれのケースも犯人の特定・逮捕に至っていませんので、今年も引き続き子どもたちの安全を地域の最重要課題としてみんなで見守っていく必要があります。

2. 昨年から継続事業

- ・ 新しい委員さんの選出：総会で承認された新しいルールに基づき一八組からの新委員の任期は今回のみ一年間、九十六組の新委員の任期は今まで通り二年間で選出することになります。以後毎年半数の委員さんの交代が行われますが、残る半数の委員さんがそのまま主導的に業務を遂行しながら一年間の時間の中で新しい委員さんに必要なノウハウや知識が引き継ぎ、運営の継続性の維持が図られます。



- ・災害時町内会対応プロジェクトの継続。
- ・火災による死亡事故ゼロを目指して火災報知器・煙感知器設置推進活動。

- ・鶴川駅方面からの広袴中央バス停を信号機付横断歩道近くに移動依頼交渉の推進。

- ・真光寺川遊歩道に街路灯設置推進活動（市政懇談会時、鶴川連合から改めて市に依頼）。

- ・広袴から鶴川駅までの具体的なプランを関係三町内会で検討していく。

- ・真光寺川から鶴見川の三輪方面までの街路灯設置は三輪町内会・自治会グループが進める。

- ・フレッシュタウン鶴川とのパートナーシップの更なる強化

3. 町内会組織関連

- ・町内会に「健康・福祉」を担当する部門の明確化を図る。

- ・会長交代（現委員が選考委員となって新会長選任の手続きを進める）。

- ・新会長が副会長及び会館管理運営副委員長を推薦する。

4. 新年度事業計画

平成二十一年会計年度（四月～）から町内会運営を担う新役員による新しい方針に基づく年度計画を待ちたいと思います。

最後になりましたが、新しい年平成二十一年が町内会会員の全ての皆様方にとりましてご健勝で幸多い年でありますよう心からお祈り申し上げますと共に、本年も一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いをいたしまして新年のご挨拶と致します。

昔の正月行事

以前はこの町田市域は鶴川地区を含んで、一带農村地域でした。農家の人々は自然が相手ですか

ら、自然に対して常に恐れと敬いの気持ちを持っていました。さらに「超自然」のものにたいしては、より大きい畏敬の念を抱いていたのでした。

ですから、年神さまを迎えての正月の行事には、その年の無事の祈願・豊作の予祝を兼ねたものが、目白押しに並びます。地域により、家により細部は異なりますが、基本的なものを挙げてみましょう。三が日があけると・・・。

正月四日 山初め ヤマハジメ

「山入り」ともいう。男衆が山へ入っての仕事はじめ。地区によつてやり方は異なり、特定の場合で、「山ノ神」に今年の豊作と無事を祈つて御参りするだけの所も多い。

正月七日 七草 ナナクサ

朝、七日粥を食べる。いわゆる七草はまだ採れないので、田の畔で採れるナズナと大根を入れた粥をつくる所が多い。本当に七種（くさ）粥にしよるとする地域では、米・麦・粟・稗・大豆・小豆・餅の七種類の具をいれた粥をつくる所もある。

正月八日 粟穂・稗穂 アボ・ヘボ

相原地区で行われていたもの。カツの木で粟と稗にかたどった削りかけをつくり、門口に立てる。畑作の豊作を祈る珍しい習慣。「あぼ・へぼ」とつまって云う。

正月十一日 仕事始め・蔵開き シゴトハジメ・クラビラキ

男衆の仕事始めの日。藁を叩いてこれを緋い、縄をつくる。縄の緋い初めを仕事はじめとする。この縄で神棚と蔵を飾る。

またこの日に始めて蔵の戸をあける。蔵開きという。またこの日に神棚や床の間を飾っていたお供え餅を割る。鏡開きという。この日で正月が終わったという区切りになる。

正月十三日 寒餅つき カンモチツキ

寒中の食べ物としての餅をつく。セーノカミ用のマユダマ（餅）をつくる。

正月十四日 どんど焼き ドンドヤキ

セーノカミとも云い、子供中心の道祖神（賽ノ神）の火祭り。マユダマの餅をこの火で焼き、交換しながら食べる。子供の良き成長を祈る行事。

正月十五日 小正月 コシヨウガツ

女衆の正月。正月中忙しく立ち働いた女の人がゆつくりする日。初嫁ははじめて実家へ帰りする。雇い人も家へ帰れる。いわゆる蕨入り。小豆粥をつくって食べる。

正月十七日 山ノ神の日 ヤマノカミノヒ

山ノ神にお参りし、実際に山仕事にはいる日。

正月二十日 えびす講 エビスコウ

この年最初のえびす講。講中が寄り合い、そば（地域によつてはうどん）を食べながら宴会をやる。エビス講という所が多い。

正月二十八日 初不動 ハツフドウ

この年最初の不動さまの縁日。広袴不動尊もこの日は賑わった。下麻生の不動さまの「だるま市」へ出かける人も多かった。

（八組 金子 欣三）

広報部長	金子欣三
副部長	井上好信
編集人	榎並利晃
	吉田雅一
	杉島健次
	坂入清之
	瀬口賢一
	岡田光司
	甲斐敬二